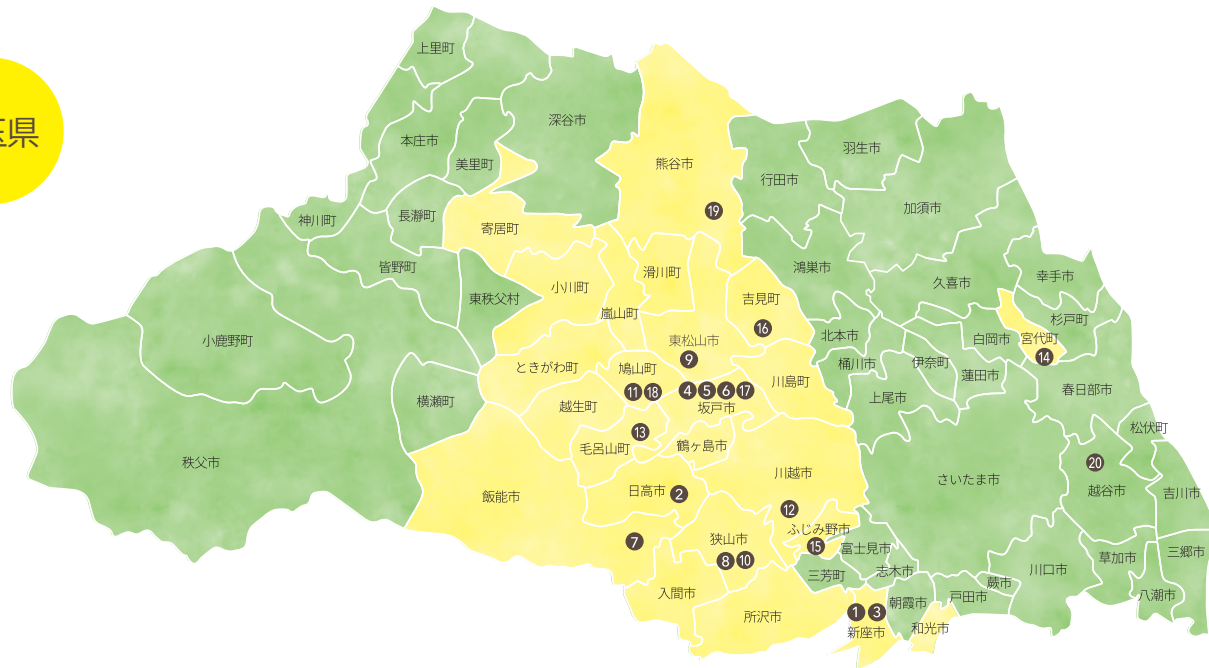


TJUP会員校

- 1 跡見学園女子大学
- 2 YAIJO 埼玉女子短期大学
- 3 十文字学園女子大学 JUMONJI UNIVERSITY
- 4 城西大学
- 5 城西短期大学
- 6 女子栄養大学
- 7 駿河台大学 SURUGADAI UNIVERSITY
- 8 BUNRIS 西武文理大学
- 9 大東文化大学
- 10 東京家政大学 TOKYO KASEI UNIVERSITY
- 11 TDU 東京電機大学
- 12 東邦音楽大学
- 13 日本医療科学大学 Nihon Institute of Medical Science
- 14 日本工業大学
- 15 文京学院大学
- 16 武蔵丘短期大学
- 17 明海大学
- 18 山村学園短期大学
- 19 立正大学 「モタリスト×エキスパート」を育て
- 20 埼玉県立大学 SAITAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

埼玉県



自治体会員	入間市	小川町	越生町	川越市	川島町	熊谷市	坂戸市	狭山市	鶴ヶ島市
	ときがわ町	所沢市	滑川町	新座市	鳩山町	飯能市	東松山市	日高市	ふじみ野市
	毛呂山町	吉見町	寄居町	嵐山町	和光市				

特定地域	宮代町
------	-----

事業者等会員	株式会社アーベルソフト	イオンタウン株式会社	伊田テクノス株式会社	株式会社エフケイ
	埼玉福興株式会社	株式会社セキ薬品	株式会社地域デザインラボさいたま	
	パーソルテンプスタッフ株式会社	関東営業本部	埼玉営業部	飯能信用金庫
	株式会社ベルク			
	株式会社村松フルーツ製作所	一般財団法人リモート・センシング技術センター		
	株式会社JTBC川越支店	TDU産学交流会		

地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援
埼玉東上地域大学教育プラットフォーム

詳細情報はWEBをチェック!
<https://www.tjup.taibokudo.jp>

TJUP 検索



2023.3.1



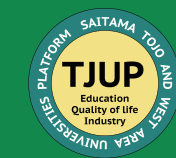
街全体が
学びのフィールド!

あなたの 学びで 地元を元気に!

大学×自治体×企業が連携する
教育プラットフォームを活用しませんか?

学生の皆さんへ、より専門性の高い教育・サービスと、座学だけでは得られない体験を通じた学びの機会の提供を目的に、また地域活性化・地元産業活性化を目指し、東武東上線および西武線沿線の大学・短期大学と、地元自治体・企業が相互連携を図り「埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)」を設立しました。
各大学の専門性の高い学びやサービス、在学中の貴重な経験の数々は、今後の人格形成やキャリア形成にとって大きな資産になります。
そしてあなたの学びそのものが地域の元気につながります。ぜひ積極的にこの取り組みを活用し、在学中のキャリア形成に大いに役立ててください。

20 地元大学
短期大学
校連携
地域全体が学びの
フィールドに



地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援
埼玉東上地域大学教育プラットフォーム

TJUPビジョン「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」とは、この地域で学び生活していく全ての世代に向けたメッセージでもあります。そして、実現のためにビジョンを3つの目的に展開しています。

- 「多様な高等教育の提供」
- 「生活しやすい地域づくり」
- 「地域産業の活性化」

教育連携

大学の枠組みを超え、専門性の高い学びとサービスを活用する。



大学間での連携授業

TJUP加盟大学・短期大学が中心となって連携教育や地域の自治体学校団体等との協働による教育関連事業等を展開します。

主な活動

- ・大学間連携による講座(共同科目など)の開設
- ・大学間連携による単位互換制度 ※1
- ・高大連携の実現
- ・教育連携懇談会の定期的な開催
- ・社会人対象の教育プログラム及び公開講座
- ・小学校、中学校、高等学校等に対する教育支援
- ・合同進学相談会 他

※1
単位互換制度とは、他の大学・短期大学において修得した授業科目の単位が自大学の単位として修得したものとみなされる制度です。会員校の特徴ある教育を通して、TJUPのビジョンである「地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援」を実現する考えのもと、単位互換を運用しています。

学生交流イベント

他大学生や地域との交流を通じて、社会性やコミュニケーション力を培う。

学生間および地域との交流を通じて、学生の自立性やコミュニケーション力を培います。

主な活動

- ・大学・短期大学間の学生交流等の促進
- ・学生団体・サークル等の連携・交流
- ・大学祭の相互訪問や共同開催
- ・学生による教育研究成果の発表大会
- ・学生リーダー会議等の企画・実施 他



子どもスポーツ体験教室

for example

鶴の子サマースクール

鶴ヶ島市では、市内公立小・中学校で学ぶ児童・生徒を対象に夏休みを利用して自主的に学ぶ機会を提供する【鶴の子サマースクール】が開催されました。会員校の学生が学習指導補助員となり、自主的に勉強に取り組む児童・生徒のサポートを行いました。集中して問題に取り組み、積極的に質問をする子どもたち。みんなで勉強できる喜びと、子ども達に寄り添う大学生の先生たちのあたたかな思いが、教室に溢れていました。

主催：鶴ヶ島市教育委員会／共催：TJUP



鶴の子サマースクール

for example

コロナ禍の学生生活 振り返り！ピンチをチャンスに！座談会2022 —悩み・工夫・これから・・・みんなで語り合おう！！—

コロナ禍において、授業形式・サークル活動・学園祭等学生生活にどのような変化・影響があったのか。どのようなことに悩み、苦労したのか、また、どのような工夫・実践により、乗り越えたのか。コロナ禍の経験を前向きな発想を交えて、熱く語る大学生の座談会を実施しました。意見交換をする中で、参加学生間の交流も活発に行われました。当日の司会進行からファシリテーションなどの役割も学生が行うなど、学生主体のイベントとなりました。

参加学生の声

ファシリテーター
東京家政大学 秋元さん



今回の座談会を通して、制限があるルールの中でも、やりたい事を仲間と共有し、一緒に考え工夫することが大切だと気づきました。また、各大学の活動等の様子を聞いて、それぞれの大学にカラーがあって、やりたい活動にあわせた考え方をしていることがわかりました。

for example

音楽を楽しもう2022

TJUP特定地域内の中学生を主対象とした教育支援企画として和太鼓、ヴァイオリンの演奏会を開催しました。前半は城西大学付属川越高等学校和太鼓「櫻」による和太鼓演奏、後半はプロヴァイオリニスト 伊藤万桜氏、伴奏 木邨清華氏によるセッションの構成にて演奏を行いました。参加者の皆様からは大変好評でした。このようにTJUPでは教育支援事業にも取り組んでいます。

主催：TJUP／後援：坂戸市



城西大学付属川越高等学校和太鼓「櫻」の皆さん



健康福祉の増進



地域のイベントへの参加

地域交流

産学公民連携の活動を通じ、地域社会の課題、産業の活性化に取り組む。

地域社会との交流を通じて学生の成長を促すとともに産学公民連携の活動を通して、地域社会が抱える課題の解決を目指します。

主な活動

- ・地域の社会・産業・文化・芸術等の振興
- ・健康福祉の増進
- ・高齢者支援・子育て支援等に関する事業
- ・地域の防災活動
- ・環境保全活動等の事業への協力
- ・公開シンポジウム等の開催
- ・地域課題の解決に資する調査研究
- ・地域の祭事/イベントへの参加 他

キャリア支援

地元の企業や自治体への就職を目指す学生へのさまざまな支援。

学生対象のキャリア支援を通して、地域雇用の拡大と地元定着率の向上を図ります。

主な活動

- ・産学公連携による合同就職説明会、就職懇談会
- ・産学公連携によるインターンシップ
- ・学生を対象とした合同海外研修
- ・学生のキャリア支援に資する事業 他



グループディスカッション(イメージ)

for example

Let's みんなでディスカッション！

採用試験では、他大学の学生とのグループディスカッションが増えています。各大学で対策講座は行われていますが、『Let's みんなでディスカッション!』では、会員校の大学生同士で、オンラインディスカッションを行い「本番に近い環境」「緊張感」をいち早く経験できる場となっています。

for example

地域の魅力発信動画制作プロジェクト

会員校の所在する自治体と連携しながら、その地域の魅力発信を目的としたPR動画を制作し、自治体等のHPで公開することを目指す取り組みです。2022年度は「新座市」にスポットを当てて制作しました。制作チームは、各校の枠を超えた学生同士で構成し、取材対象の選定から下見、撮影、編集作業等の一連の流れを全て学生自身で行い、作品を完成させました。

2022年度制作動画公開中



<https://www.youtube.com/watch?v=98Cl-05eQEU>



新座市紹介動画

参加学生の声

全体リーダー
大東文化大学 西脇さん

全体のまとめ役という経験から、周りの人にも気を配ることの重要性を学びました。28名の学生が参加していたため、一人ひとりの役割分担を決めるのに苦労しましたが、全体的にはスケジュール通りに進められました。本プロジェクトの経験は、今後、大学で行っている課外活動や社会人になった際に活かしていきたいと思っています。



動画編集作業(左端:西脇さん、左から二番目:鈴木さん)

編集リーダー
文京学院大学 鈴木さん

身につけた最低限の編集スキルは他の場面でも使える機会が必ず来ると考えています。また、自分の武器にもなったので、良い経験になりました。このように責任が伴う活動は初めてだったので、これからこのようなプロジェクトに参加した時には、道筋や優先順位の目処が付きやすくなったと思います。